

苑たより 3月号

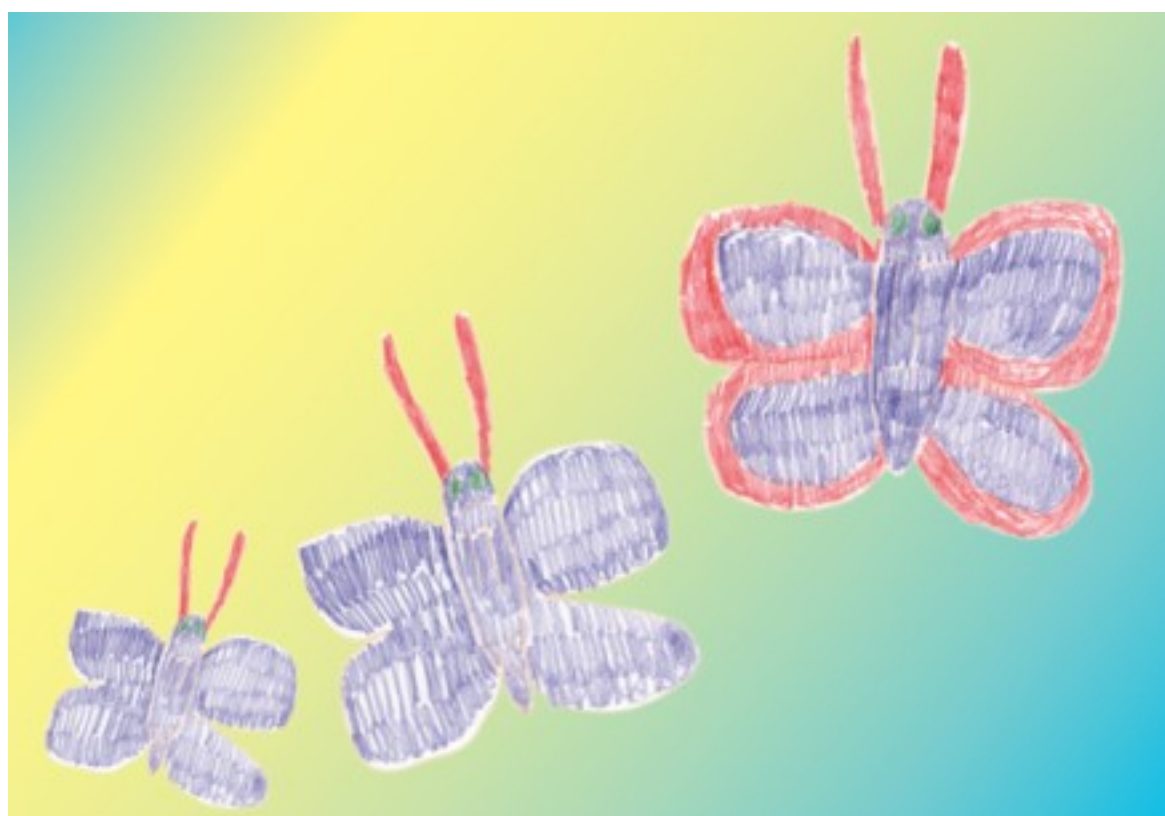


(綜成苑通所利用者)

http://www.tuwabuki.jp/01_02_tayori_sosei.html

綜成苑・綜愛苑・つつじが丘苑・T-JOB 苑たより

平成31年3月号
統合版第96号




寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになりました。
早春の光と風の中、ハーブ園ではスイセンがまばゆい黄金色の花びらを咲かせています。
まもなく桜の便りも届くと思いますが、「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、まだまだ朝晩は冷え込みますので、保護者の皆さま方には、風邪など引かれないようにお気をつけてお過ごし下さい。



3月の行事予定

- ★ 3日（日） つながり文化祭
- ★ 10日（日） 第12回わかやまし社協まつり
- ★ 11日（月）～25日（月）
和歌山信愛女子短期大学実習生受け入れ（綜成苑・綜愛苑）
- ★ 22日（金） つわぶき会・哲人会 法人理事会・評議会（アバローム紀の国）



前月の主なできごと

- ★ 1日（金） 餅つき大会・節分 豆まき（つつじが丘苑）
- ★ 4日（月） 節分 豆まき（綜愛苑）
- ★ 5日（火） 湯川歯科健診（綜愛苑・つつじが丘苑）
- ★ 25日（月） 和歌山信愛女子短期大学実習生受け入れ（綜成苑・綜愛苑）



職員の新規採用がありましたのでお知らせします

松本 祐幸 綜愛苑更生部生活支援班生活支援員

2月1日採用

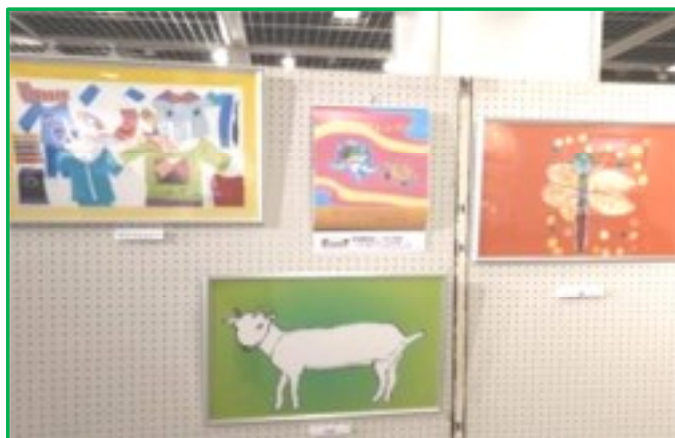
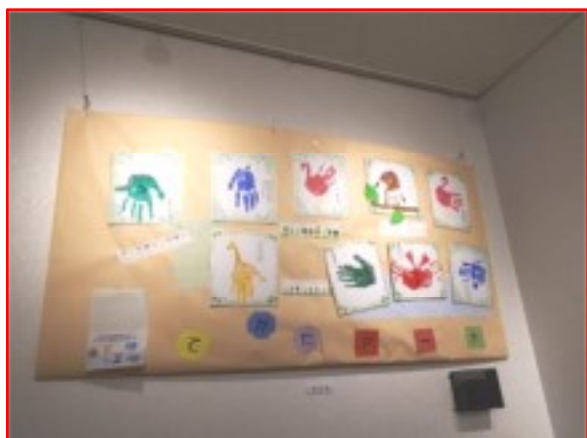
お悔み申し上げます

さる1月29日、きらめき利用者である垂井美穂様がお亡くなりになりました。
また2月4日、綜愛苑入所・綜成苑通所利用者である多田敏章様の父親である多田俊巳様がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りします。

【 綜成苑 更生部 】

『エイブルアート&ぱれっと作品展』

1月22日（火）、ビッグ愛へ『エイブルアート&ぱれっと作品展』の見学に行きました！
みんなで力を合わせて創った「手形アート」や「絵画クラブ」での作品が展示されていて
嬉しかったです。



『 3B体操 』

2月15日（金）午後から綜成苑・増築棟にて「3B体操」が実施されました。
綜成苑入所の利用者さんや授産の利用者さん、
綜愛苑の利用者さん、支援員も参加し、皆さんで音楽のリズムに合わせて輪になって行進し、腕を伸ばしたり、身体全体を動かしています。
また、音楽に合わせて座って足を伸ばしたり、運動会のゲーム形式のように幾つものクッションを飛び越えたり、輪を潜ったりと頑張ってくれています。
参加された利用者さんも生き生きと喜んで、体を動かし楽しんでくれました。



【 綜成苑 授産部 】

生活介護班では、毎日ラジオ体操の後全員で部屋の掃除をしています。
最初は帚を持った事も使い方も解らない雑巾を触った事も無かった人たちがキチンと掃けるようになり、自分の仕事と感じて、責任を持って取り組んでくれています。



その後の手洗いも、DVDを見ながらの椅子体操も習慣になり、机と椅子を寄せて準備をしてくれています。

昼食後は、食堂から戻ると直ぐに歯ブラシを持ち、自ら磨いて仕上げは支援員がしています。歯みがき指導は2年前から続けています。

基本的な生活を身につける事が心身の健康に繋がり、作業にも集中出来ているように感じています。

最近では、ハンガー三色を分ける作業もほとんどの利用者さんが、率先して取り組んでくれています。

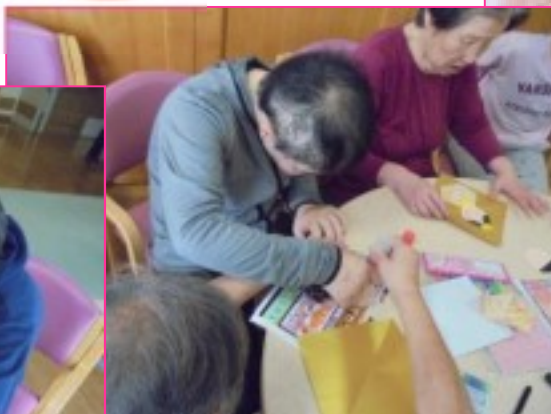


又 創作活動にも意欲的に取り組んでくれて、充実した日々を過ごしてくれています。今後も作業、活動においてメリハリをつけながら取り組んでいきたいと考えております。

(綜成苑 授産部 生活支援員 榎本多津子)

《創作活動》

立春を過ぎても、暫くは寒い日が続きましたが、20日頃に春を感じられる暖かい日が訪れこのまま春本番になるように願いを込めて、お雛様を作っています。



《豆まき》

今年も豆まきで鬼を追い払って厄除けをしました。



(綜愛苑 更生部 生活支援員 森晃一)

【 きらめき 】

“ 鬼は外～福は内～ ” 節分の日には豆まきをしました。☆今年も福が来ますように☆願いを込めて鬼に扮した支援員に豆を投げたら、皆さん笑顔になり、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

「笑う門には福来る」(*^_^*)



(綜愛苑 生活支援員 山本美香)

【 つつじが丘苑 】

2月1日金曜日に豆まきと餅つきを行いました。



(つつじが丘苑 サービス管理者 岩橋健司)

【T-JOB】

2月8日(金)和歌山市役所玄関内で行なわれた授産自主製品販売に参加しました。毎年2回程参加させていただいております。T-JOBでは支援の一環として商品の製作から販売当日どのようにお客様にアピールしたら買っていただけるかを利用者・支援員で考え、話し合います。

今回販売したのは【タイルトレイ】、【スタンドグラス風フォトフレーム】、【鍵や小物を掛けるフレーム】です。

タイルトレイ作りでのガラススタイルの配置では、利用者さんがオリジナルのデザインを考え作成しました。フォトフレーム、キーフレーム作りでは下描きどおりにきれいに描き写すことが難しかったようで、みんな真剣に集中し苦戦をしながらも一生懸命取り組んでいました。

2月8日の販売当日は利用者さん自らブースに立って、接客販売を行ない緊張しながらもみんな笑顔で「いらっしゃいませ」「どうぞ見て行ってください」などの声掛けをし、更に商品を手にとって下さったお客様には商品アピールも行ないました。

今回はみんなの頑張りがあり、完売することができました。みんなが作った商品がお客様に喜んでもらい、購入していただいたことで、みんなから「接客などの声掛けは緊張し難しかったが、売れたことがうれしかった」と達成感と充実感を得た感想がたくさんありました。

【タイルトレイを作成中】



【タイルトレイ完成品】



【2月8日 和歌山市役所玄関内での授産自主製品販売のブースの様子】

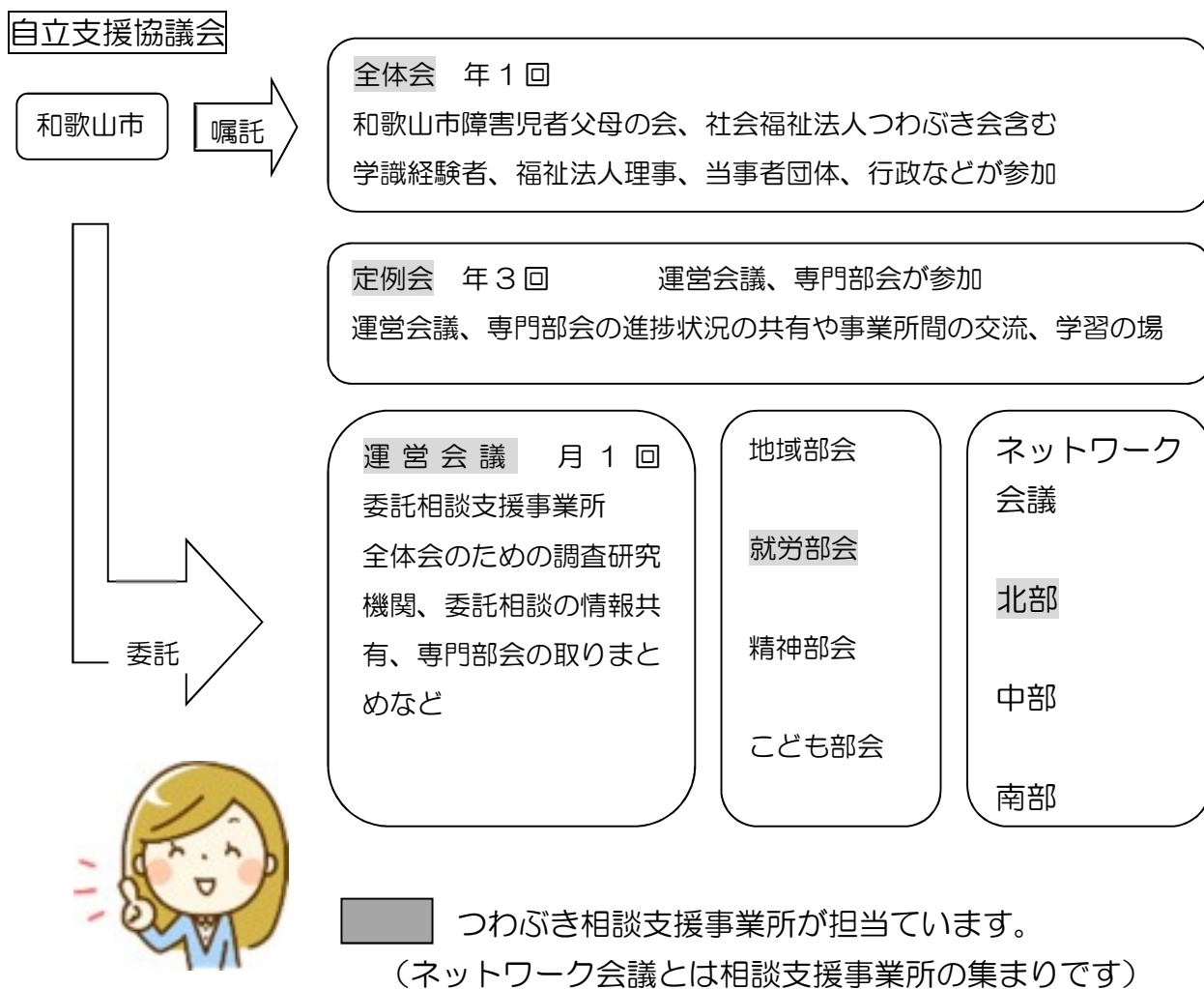


(T-JOB 就労支援員 大久保重頼)

【つわぶき相談支援事業所】

和歌山市自立支援協議会について

和歌山市では「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づき和歌山市自立支援協議会を立ち上げ、地域における障がい者の方々への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、和歌山市の実情に応じた体制の整備について協議を行っています。



和歌山市自立支援協議会には4つの専門部会があり、つわぶき相談支援事業所は、その中にある就労部会の事務局を担当しています。

この部会は障がい者の方々の就労に特化した取り組みを行い、障がい者の方々が住み慣れた地域で就労するために現状整理と共有や就労機会の拡大や就労環境の調整、経済的な自立に向けた協議をおこなっています。

また、就労にかかる環境や地域資源などの課題を解決していくことや、障害者権利条約にある合理的配慮がなされた地域社会の実現をめざしています。

(つわぶき相談支援事業所 係長相談員 熊井利将)